

- 事業名 : 2 月例会(新たな未来(あした)を創る事業)運営(案)  
~ 出向者アワー ~
- 委員会名 : 総務広報委員会
- 委員長名 : 小島 大輝
- 文書作成者役職・氏名 : 委員長 小島 大輝
- 議案上程日 : 2025 年 12 月 19 日
- : 担当副理事長 : —
- : 専務理事 : 湯浅 英仁
- : 確認日 : 2025 年 12 月 19 日

事業要項(企画)

1.実施に至る背景	成長の機会が提供される青年会議所では、そもそも活動・運動に参加しなければその機会が得られにくいです。自分が知らない活動・運動にも参加するためにはきっかけを作ることが必要です。	
2.目的	<b>【聴衆側】</b> 各会議体がどのような活動をしているのかを理解し、関心を深めてもらうことを目指します。 <b>【発表側】</b> 自身の経験を LOM 全体に伝承してもらうことで当青年会議所から代表して出向していると改めて認識してもらい、青年会議所活動に更に力を入れてもらうことを目指します。	
3.解決すべき課題	各会議体へ出向経験が無いメンバーは高い壁の様に感じ、必要以上に身構えてしまうと考えます。これは各会議体についてどのような活動・運動をしているのか知らないからこそ起こってしまうため、そのメンバー間の感覚の差を当該事業で各会議体について知識をつけていただくことで解決できると考えます。	
4.KPI(目的に対して)	例会事業参加者の 90%が活動に対して理解・関心の向上ができること、60%が来年度以降出向したいと思ってもらうことを目指します。	
5.広報戦略	01	1 月例会の報告依頼事項で例会参加者へ周知
	02	全体 LINE にて現役会員全員へ周知
6.対象者及び参加員数	(対内) )(一社)新発田青年会議所 正会員 53 名	
	(対外)なし	
7.実施日	2026 年 2 月 13 日(金) 18 時 30 分例会開始 21 時 00 分例会終了  <b>【開催日選定理由】</b> ・理事長の対外日程を考慮したため。	
8.実施場所	健康長寿アクティブ交流センター 屋内広場 (Zoom によるハイブリッドでの開催)  <b>【会場選定理由】</b> ・過去に同会場にて例会を開催した実績があるため。	
9.事業内容 (目的達成のための手法)	<b>■具体的手法</b> (1)(公社)日本青年会議所、新潟ブロック協議会、阿賀北青年ネットワークへそれぞれ 25 年度に出向したメンバーに各会議体の活動について発表をしてもらう。  発表予定候補 ・(公社)日本青年会議所:清田 達也 君(総務グループ財政審査会議 副議長) ・新潟ブロック協議会:園部 裕司 君(Next Generation 委員会 副委員長) ・阿賀北青年ネットワーク:小林 克年 君(事務局次長)  ・PowerPoint を活用して発表を進める。  ・出向者には下記の内容について発表してもらう。 ① 出向先についての説明(組織図を用いて自分の出向先について) ② 活動内容 ③ 出向をして大変だったこと、辛かったこと ④ 出向をして良かったこと (ex.仲間が増えた。繋がりが増えた etc.) ⑤ 今年度出向をしているメンバーに向けて伝えたいこと ⑥ 質疑応答	

(2) (公社)日本青年会議所、新潟ブロック協議会、阿賀北青年ネットワークへそれぞれ 26 年度出向しているメンバーに意気込みを発表してもらう。

**発表予定候補**

- ・(公社)日本青年会議所:後藤 直人 君(財務運営会議)
- ・新潟ブロック協議会:椎谷 洵 君(ASPAC 新潟連携 委員会 副委員長)
- ・阿賀北青年ネットワーク:荘司 拓磨 君(事務局長)

・出向者には下記の内容について発表してもらう。

- ① 出向先についての説明
- ② どの様な活動をするのか
- ③ 25 年度の出向者の発表を聴いての感想
- ④ 26 年度活動をするための意気込み

(3)出向に対して議論をし、発表をしてもらう。

・議論テーマ①:「出向とは？」

テーマ選定理由:そもそも論として出向について改めて考えたいため。

・議論テーマ②:「出向を身近に感じるためには？」

テーマ選定理由:どの様な活動・運動をしているのか知らないことによって起こってしまう各会議体に対してハードルが高い様に感じ、必要以上に身構えてしまうと考えることから、どうやったら出向という制度をメンバーに身近に感じていただき、出向をしたいという意欲を与えられるか出向経歴があるメンバーが沢山いる今、LOM で改めて一丸となって考えたいため。

・議論テーマ③:「これから何ができるか？」

テーマ選定理由:上記テーマ②を基にこれからできることを考え、行動の元を作っていただきたいため。

**■実施による工夫**

- ・組織図を用いてその組織の全体像を解説する。
- ・実際に活動した内容を話してもらう。
- ・活動をする上でどの様に大変だったのか、辛かったのか、やりがいがあったのか話してもらう。
- ・今年度出向しているメンバーに向けて伝えたいことを発表してもらう。

**■得られる効果**

- ・組織図を用いることでその組織についての理解が深まる。
- ・実際に経験したことを話してもらうことで理解・関心を深めることができる。
- ・これから経験することを事前に知ること、身構えずに出向先で活動をすることができる。
- ・LOM メンバーに向けて伝えたいことを発表してもらうことで、出向しているメンバーの背中を押すことができる。

**■実施までのスケジュール**

いつ	どこで	なにを
12 月下旬	委員会開催場所	司会進行、タイムスケジュールの確認及びリハーサル
1 月中旬	委員会開催場所	司会進行、役割分担の確認及びリハーサル

**■委員会メンバー役割分担**

名前	委員会	役割
湯浅 英仁	専務理事	謝辞
小島 大輝	総務広報委員会	全体管理責任者
金山 幸之助	総務広報委員会	補助
小熊 悠斗	総務広報委員会	パソコン操作
後藤 直人	総務広報委員会	受付・司会①
齋藤 雅也	総務広報委員会	補助
菅井 嘉亮	総務広報委員会	タイムキーパー
田中 利明	総務広報委員会	写真撮影
中川 大輔	総務広報委員会	受付・司会②

	■当日のタイムスケジュール				
	時間	所要時間	内容	担当	備考
	17:00		委員会メンバー集合	総務広報委員会	
	17:00	00:30	会場設営・準備	総務広報委員会	
	17:30	00:30	リハーサル開始	総務広報委員会	
	18:00	00:30	受付開始	総務広報委員会	
	18:30	00:15	例会セレモニー開始	執行部	
	18:45	00:30	総会	執行部	
	19:15		例会セレモニー中断	総務広報委員会	
	19:15	00:05	事業準備	総務広報委員会	
	19:20	00:01	開会宣言	司会	
	19:21	00:03	趣旨説明	小島委員長	
	19:24	00:01	25 年度出向者紹介	司会	
	19:25	00:01	発表者①登壇	-	
	19:26	00:07	発表① (公社)日本青年会議所	清田 達也 君	
	19:33	00:07	発表② 新潟ブロック協議会	園部 裕司 君	
	19:40	00:07	発表③ 阿賀北青年ネットワーク	小林 克年 君	
	19:47	00:08	休憩		
	19:55	00:01	26 年度出向者紹介	司会	
	19:56	00:01	発表者④登壇	-	
	19:57	00:05	発表④ (公社)日本青年会議所	後藤 直人 君	
	20:02	00:05	発表⑤ 新潟ブロック協議会	椎谷 洵 君	
	20:07	00:05	発表⑥ 阿賀北青年ネットワーク	荘司 拓磨 君	
	20:12	00:05	出向についての議論①	-	
	20:17	00:02	① について発表	-	
	20:19	00:05	出向についての議論②	-	
	20:24	00:03	② について発表	-	
	20:26	00:05	出向についての議論③	-	
	20:31	00:03	③ について発表	-	
	20:35	00:03	事業アンケート回答	総務広報委員会	
	20:38	00:03	専務理事 謝辞	湯浅専務理事	
	20:41	00:01	閉会宣言	司会	
	20:42	00:03	例会再開準備	総務広報委員会	
	20:45	00:15	例会セレモニー再開	執行部	
	21:00		例会終了	執行部	
	21:00	00:30	後片付け	総務広報委員会	
10.連携するパートナー 種別					
11.前回の上程より、 ブラッシュアップした点	・事業名の体裁を修正しました。 ・全角、半角が入り混じっていたため修正しました。 ・				

(上記の表以外に補足的な説明があれば、簡潔に記載)

12.	予算総額	¥0 円	<a href="#">事業計画収支予算書へ</a>
13.	審議対象資料	14.参考資料	
01)	<a href="#">対内アンケート(聴衆側)</a>	01)	<a href="#">前年度からの引継事項(引用議案:2022 年度事務局)</a>
02)	<a href="#">対内アンケート(発表側)</a>	02)	<a href="#">当日使用パワーポイント</a>
		03)	<a href="#">司会シナリオ</a>
		04)	<a href="#">25 年度出向者名簿</a>
		05)	<a href="#">25 年度新潟ブロック協議会出向者数</a>
		06)	<a href="#">26 年度新潟ブロック協議会出向者数</a>

		07)	<a href="#">会場イメージ図</a>
		08)	<a href="#">座席表</a>

## 前回までの流れ

### ● 第2回執行部予定者会議      ● 開催日 2025 年 10 月 2 日（木曜日）      討議

意見 01: そもその課題は何だと思うか。

対応 01: 出向の壁が高いと感じている人がいる一方で出向に行きたがる人もいる。情報共有によりこの意識の差をなくすことが課題だと考える。

意見 02: 背景に手法が入っているので、再考いただきたい。

対応 02: 再考しました。

意見 03: 総会もあるので、例会会場の時間を再度確認してください。

対応 03: 確認しました。

意見 04: 例年 2 月例会は参会者が少ない印象なので、多くのメンバーが参加できる様にハイブリッド開催の検討もしてください。

対応 04: ハイブリッド開催にしました。

### ● 第3回執行部予定者会議      ● 開催日 2025 年 11 月 4 日（火曜日）      協議

意見 01: 解決すべき課題の段落分けなくていい。

対応 01: 修正しました。

意見 02: アンケートと KPI は発表者用もあった方がいいのではないか。

対応 02: 加えました。

意見 03: Wi-Fi は会場のものは市のもので弱いかもしれない Zoom 使えるか事前に確認したほうが良い。

対応 03: 確認しました。

意見 04: 決まっていない来年度の発表者はさておき、現時点でわかる今年分の発表者は記載した方がいいのでは。

対応 04: まだ決まっていないところもあるため可能な範囲ですが記載しました。

意見 05: 話を聞くだけの事業なのでなにか工夫を入れてほしい。特に出向は実際に行かなければわからないところがある。難しいが考えてほしい。それも含め予算つけてでも取り組んでほしい。実りあるものにしてほしい。

対応 05: 再度検討しました。

意見 06: 席次表は作るのか。

対応 06: 作成しました。

意見 07: 発表者側の目的が長くわかり辛くなっている。もっとシンプルでいい。目的がいくつもあのような印象も受けるので、第一にこれだというのがわかるようにしてほしい。

対応 07: 再考しました。

意見 08: アンケートは参考資料でなく審議対象資料で上げてください。

対応 08: 修正しました。

意見 09: 2025 年度出向者にこだわらず中身の良し悪しで人選したらどうか。

対応 09: 委員会にて手法について再検討しました。

● 第 3 回理事予定者会議

● 開催日 2025 年 11 月 11 日（火曜日） 協議

意見 01: 最初に「なぜ出向が必要なのか？」の説明を入れた方がいい。「ディスカッション」についてやり方を工夫しないと着地点が曖昧になる。

対応 01: 内容について再考しました。

意見 02: 「討論」と書いてあるが、「議論」と「討論」ではやり方が全然違うため「討論」だと賛成派と反対派に分かれて話し合うことになる。もしかしたら反対派が勝ってしまう可能性もある。その点はどう考えているか。

対応 02: この企画は最終的に「出向は良いものだ」というプラスのイメージで終わらせたいので、「討論」ではなく、参加していたメンバーでより良い点を見つけていく「議論」にしました。

意見 03: PowerPoint の内容について今後資料の内容は増える予定か。

対応 03: 写真や資料を使って説明を行いたいという話を発表者の方から既にいただいているので、PowerPoint 資料はより良いものにするために当日まで更新します。

意見 04: 発表する人たち以外にも、その年に出向していたメンバー全員の名前を一覧にして見せると後から個人的に話を聞くきっかけにもなって理解が深まるのではないか。

対応 04: 2025 年度と 2026 年度に出向するメンバーの一覧を発表の最初に紹介できるようにしました。

意見 05: 2026 年度の出向者による発表は主に今後の活動への抱負を語る場となるのか。

対応 05: 出向先がどのような組織であるかの説明と今後どのような活動をしていくのかについて発表するようにしました。

意見 06: 議論の進め方についてもグループディスカッション形式を取るのであれば、各グループに 1～2 名、出向経験者を配置することで、より議論が深まるのではないか。

対応 06: 当初は自由席を想定しておりましたが、委員会ごとに着席するなど、より効果的な議論ができる方法を再考しました。また、タイムスケジュールについても時間配分を含めてもう一度計画を練り直しました。

● 第 4 回執行部予定者会議

● 開催日 2025 年 12 月 3 日（水曜日） 審議

意見 01: KPI はなぜ 60%なのか。

対応 01: 現状出向している方を除いた出向経験のない方を対象とするため、その難しさから 60%にしました。

意見 02: 26 年度出向者はまだ出向中の身でこの内容を話すことができるか。

対応 02: 例会が行われる 2 月時点では問題ないと判断しました。

意見 03: 議論のメンバーについてはやはり委員会メンバーでなく、作為的に議論が活発にできるよう組んだ方が良いのではないか。

対応 03: 修正しました。

意見 04: 予算がない場合にも会場費は本会計から出ているので、それについての予算書を作成し、添付してください。

対応 04: 作成し、追加しました。

● 第 4 回理事予定者会議

● 開催日 2025 年 12 月 8 日（月曜日） 審議

- 意見 01: グループディスカッションの時間が5分となっており、発表が2分から3分となっているが、5分で議論をするには少し難しい内容なのではないか。
- 対応 01: 最終的な結論は個々人で持ちそれをアンケートに記載することで完結させるため、議論時間については適性と考えました。
- 意見 02: 司会シナリオに PowerPoint のスライド番号を入れた方が司会との連携が取りやすくなるので、入れてください。
- 対応 02: 直前までスライドのアップデートを行うので、当日の司会シナリオには入れる様にし、報告議案にてそのシナリオを添付させていただきます。

● 第 12 回執行部会

● 開催日 2025 年 12 月 15 日 （月曜日） 審議

- 意見 01: 事業名のサブタイトルは改行して記載し意見対応以降の日付が 2025 年でなく 2026 年になっているので修正してください。
- 対応 01: 修正しました。

● 第 12 回理事会

● 開催日 2025 年 12 月 22 日 （月曜日） 審議

- 意見 01:
- 対応 01:

●議案上程スケジュール

事業計画・予算				事業報告・決算			
回数	諸会議名	開催日時	議事	回数	諸会議名	開催日時	議事
● 第 2 回	執行部予定者会議	2025 年 10 月 2 日	討議	第 4 回	執行部会	2026 年 4 月 15 日	審議
● 第 3 回	執行部予定者会議	2025 年 11 月 4 日	協議	第 4 回	理事会	2026 年 4 月 23 日	審議
● 第 3 回	理事予定者会議	2025 年 11 月 11 日	協議				
● 第 4 回	執行部予定者会議	2025 年 12 月 3 日	審議				
● 第 4 回	理事予定者会議	2025 年 12 月 8 日	審議				
● 第 12 回	執行部会	2025 年 12 月 15 日	審議				
● 第 12 回	理事会	2025 年 12 月 22 日	審議				

- ※ 予定者会議はグレーにする
- ※ 議案上程スケジュールは、的確な時期に上程を行う